

# 日本イーラーニングコンソシアムのご紹介



特定非営利活動法人

日本イーラーニングコンソシアム

## 日本イーラーニングコンソシアム（eLC）とは

- eラーニングの普及促進、啓蒙を目的に2001年に発足したNPO法人
- 法人会員数：67（正会員：48、準会員：17）、個人会員：13名



## eLCの主な3つの活動

- 1) eラーニング関連技術の標準化推進 <SCORM、xAPI、cmi5等>
- 2) eラーニング専門家の育成 <eラーニングプロフェッショナル資格制後>
- 3) eラーニング関連の情報提供 <Webサイト・カンファレンス・市場調査報告>



## eLCの重点強化活動

- 1) Future of Learning委員会
- 2) ユーザー委員会
- 3) 会員増強委員会
- 4) 地域拡大委員会
- 5) グローバル推進委員会



# eラーニングプロフェッショナル(eLP)制度

## e-Learning Professional

ICT時代の教育専門家はニューテクノロジーそのものではなく、ニューテクノロジーが学習者の可能性をどう変えるのかについて知らなければならない。

*Joel Greenberg, UK Open University*

7つの資格取得のためのeラーニングコースを、eLC有識者及び熊本大学大学院教授システム学専攻との連携で提供

資格取得者数

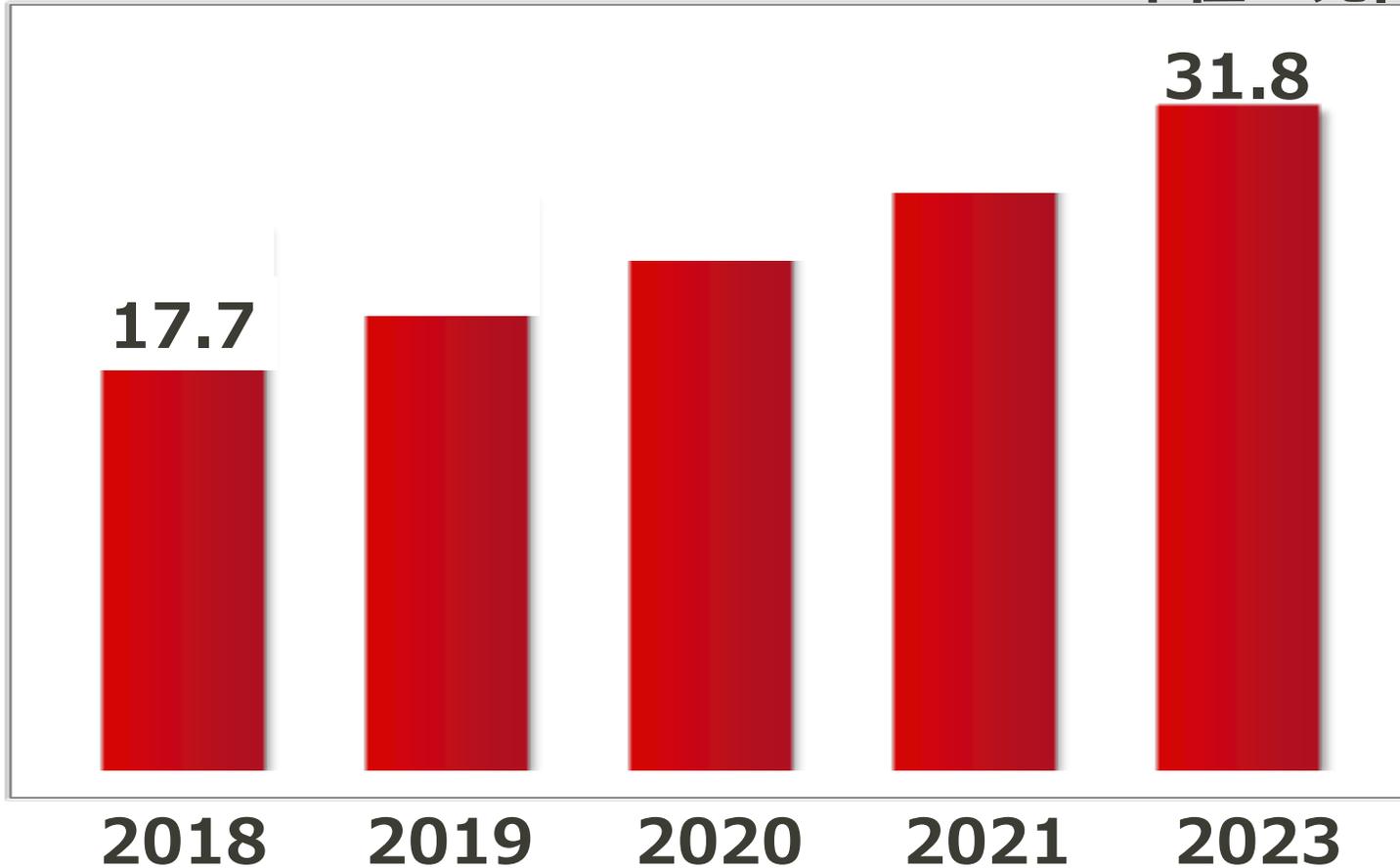
合計 1,750名 (延べ人数)

2020年3月末時点



# グローバルeラーニング市場の伸び

単位：兆円



年間成長率10.3%

世界のeラーニングマーケット全体  
昨年のレポートでは伸長率は5%



出典：Docebo「E-Learning Trends 2019」より

# eラーニング、オンライン研修を取巻くトレンド

- ◇ 移動時間、費用の大幅な削減 ➡ 人、育成への新たな投資の実現  
コンテンツの多様化、オンラインでのより詳細な学習支援
- ◇ オフライン70%からオンライン30%の逆転  
学習活動のきめ細かな記録、分析による個別最適の実現
- ◇ ミレニアルズ、Generation Y, Z世代が社会の大半を占める  
2025年には全インターネットユーザの73%がスマホのみ利用  
(CNBC)
- ◇ ICTテクノロジーとeラーニングプラットフォームは、単なるコミュニケーションツールではなく人材育成における不可欠な基盤、環境となる
- ◇ しかし、学習のオンライン化、リモート化が目的ではない。  
学習者中心のIDに基づく学習活動の設計には何ら変わりはない。